

第1学年外国語活動学習指導案

学校名： 津市立美杉中学校

1 単元名 Lesson 6 「アメリカの中学校」 (TOTAL ENGLISH NEW EDITION 1)

2 単元の目標

- ・ they などの三人称複数や we などの一人称複数の主語の文の構造を理解できるようになる。
- ・ アメリカの学校生活という身近な話題を通して日米の文化の違いに気づき、異文化理解を深めるとともに、改めて自国の文化を見つめ直し、それを発信できるようになる。

3 指導上の考察

(1) 単元について

本単元では、アメリカからやってきた転校生のジャックの家にナナ、タク、マヤの三人が訪れ、ウェブサイトやジャックの説明を通してアメリカの中学校生活を知るというものである。6A では四人がジャックのおばが勤めているニューヨーク市中学校のホームページを見ているところが描写されており、主語が複数の文や、新出の人称代名詞を用いた文が含まれている。6B では中学校のフロアマップを見て、アメリカと日本の学校文化の違いが説明されており、新出疑問詞 **Where** を用いた表現を学ぶ内容となっている。6C ではアメリカの中学校の昼食について紹介があり、ここでも日米の文化の違いに触れる。また、動詞の後に目的格の人称代名詞を用いる文を学ぶ。最後に **LEGO** 活動を取り入れることで、本単元で生徒が獲得した表現を創造力を駆使しながら、実際に使ってみる機会を提供する。

(2) 指導について

まず、授業の「めあて」を最初に提示することで、本時で学習する内容を明確にし、授業の見通しをもたせる。また、ペアワークやグループワークを取り入れ、生徒が教え合い、自信を持って発表できるような環境ができるように配慮する。さらに、極力机間巡視を多くとることで、個々の生徒の理解度をこまめにチェックしながら授業を進行する。毎回の授業の終わりには振り返りシートを配り、簡単な問題を解かせ、授業で学んだ内容を理解しているかチェックすると共に、授業の感想や疑問に思ったことを書かせる。

4 指導計画 (全7時間)

時	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第1時～ 第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主語が複数の文の構造を理解する。 ・ 教科書の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題プリントを用意し、主語が三人称単数の文との違いを意識させる。
第3時～ 第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疑問詞 Where を用いた文の構造を理解する。 ・ 教科書の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書にある設定を利用して、活動させる。
第5時～ 第6時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主語＋動詞＋目的語で目的語に代名詞が使われる場合の構造を理解する。 ・ 教科書の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアワークで、お互いのことについて質問させる。 ・ アメリカの学校の写真などを見せて、生徒の興味関心を高める工夫をする。

第7時 (本時)	・Lesson 6 で学んだ新出の表現を、LEGO を使う活動の中で実際に活用してみる。	・大きい声ではっきりと発音できているか確認する。
-------------	--	--------------------------

5 本時の指導

(1) 目標

- ・本単元での既習表現を用いて質疑応答ができる。
- ・LEGO で作った作品について班や全体で発表することができる。

(2) 準備物

〈生徒〉教科書・ファイル

〈先生〉教科書・ファイル・LEGO・書画カメラ

(3) 学習過程 (50分)

	学習活動	学習内容	□指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	1 挨拶をする。 ラインクエスションを行う。	・既習内容を想起する。(天気・時刻・曜日などの既習表現)	□本単元、学んだ既習内容を想起させ本時の学習に入りやすいようにする。
展開 上 段 20分	2 本時のめあてを知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <めあて> 英語で自分たちの学校を紹介し合おう！ </div>	
	3 先生のレゴを見る。	・教卓の近くに集まり、LEGO を見ながら JTE と ALT の英語の会話を聞く。	□Tell me about this. などの既習表現をしっかりと理解し聞き取れているか確認する。
	4 自分たちで学校の好きな場所を LEGO で表現する。	・二人一組で以下の条件のもと LEGO で表現すること確認し、班に分かれて作成する。 ① 学校内のどこか ② 登場人物二人以上 ③ 何かしている所	□机間巡視し、生徒が発表できる状態か確認する。 ◆自分の LEGO の発表を想像しながら作り、わからない英語表現を質問できる。(関心・意欲・態度)

<p>展開後段 20分</p>	<p>5 班の中で発表する。</p>	<p>○班の中の二グループで発表しあう。</p> <p>○チャンツに合わせて歩き回り会話し合う。</p> <p>○班内で、よりリアリスティックな方を代表に決める。</p> <p>班の代表が前に出て二人一組で発表する。</p>	<p>□それぞれのグループの発表をしっかりと聞くよう指示する。</p> <p>□机を元に戻させ、聞く体制を整えるよう指示する。</p> <p>◆ジェスチャーなど交えながら大きな声ではっきり発表することができる。聞く側はあいづちやアイコンタクトをすることができる。 (表現の能力<話す力・聞く力>)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○板書した既習表現を読み上げる。</p> <p>○振り返りシートをする。</p>	<p>□大きい声ではっきりと発音できるよう指示する。</p>

6 板書

めあて 自分たちの学校を紹介しよう！

☆Tell me about this.

これについて教えて。

☆Where is this?

これはどこですか？

☆What do they do ?

彼らは何をしますか？

現をおさらいしよう

—

Sure.

いいよ。

—

(例)This is lunch room.

これは教室です。

—

(例)They eat lunch.

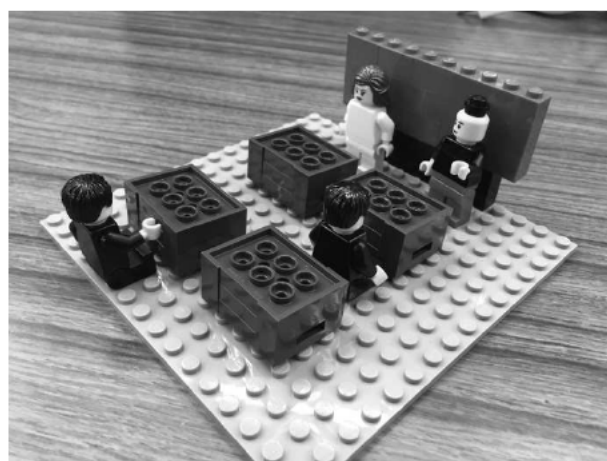
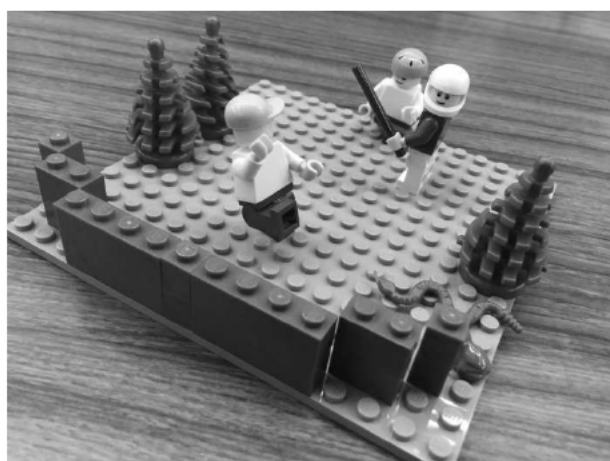
彼らは英語を勉強します。

LEGO の条件

- ①学校内のどこか
- ②登場人物2人以上
- ③何かしている所

振り返り 今日使った表現

7 授業の最初にみせる LEGO



No. Name

めあて

(例)

- ☆Tell me about this. - Sure.
 これについて教えてよ。 いいよ。
- ☆Where is this? - This is lunch room.
 これはどこですか? これはランチルームです。
- ☆What do they do? - They eat lunch.
 彼らは何をしますか? 彼らは昼食を食べます。

①さあLEGOを作ろう！！

LEGOの条件

- ① 学校内のどこか ②登場人物二人以上 ③何かしている所
 → () → () → ()

②さあ会話してみよう！！

- ☆Tell me about this. - Sure.
 これについて教えてください。 いいよ。
- ☆Where is this? - This is _____.
 これはどこですか? これは_____です。
- ☆What do they do? - They _____.
 彼らは何をしますか? 彼らは_____を.

振り返り

- (1) 大きな声で発表できたか
 1できた 2どちらともいえない 3できなかった
- (2) 友達の発表をあいづちや、アイコンタクトなどをして聞けたか

1 できた 2 どちらともいえない 3 できなかった

(3) 疑問に思ったこと・難しかったこと・感想があれば書こう！